

血液検査（アルカリフォスファターゼ）を受けられた患者さんの検体・情報を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究に検体・カルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

[研究課題名] 成人型低ホスファターゼ症診断に有用なスクリーニング手順の確立

[当院の研究責任者] 整形外科・リウマチ科 福土純一

[研究の背景]

成人型低ホスファターゼ症は、関節リウマチや骨粗鬆症と間違われやすく、診断が難しい疾患です。より早期に適切に診断するために、診断の手順を明らかにすることが求められています。

[研究の目的]

低ホスファターゼ血症の原因を調べることで、低ホスファターゼ症が、より早期に適切に診断できるようになることを目指します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2017 年 1 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日の間に 2 回以上血液検査（アルカリフォスファターゼの項目）を受けた方

●研究期間：倫理委員会承認日から西暦 2026 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

西暦 2017 年 1 月 1 日から西暦 2019 年 12 月 31 日までのカルテ情報を使わせていただきます。

カルテ情報：診断名、年齢、性別

血液生化学（アルカリフォスファターゼ（過去5回分）、アルブミン、ヘモグロビン、カルシウム、リンなど）

(臨床研究に関する公開情報/単施設実施用)

治療薬 (ステロイド、免疫抑制剤、化学療法、モノクローナル抗体製剤、ビタミンD製剤、ビスホスホネート製剤など)

現病歴 (多発性骨髄腫、甲状腺機能低下症、ウィルソン病、骨粗鬆症、亜鉛欠乏、マグネシウム欠乏、輸血歴、肝疾患、など)

既往歴 (骨折治療歴など)

●情報の管理

当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 (福土純一) が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

整形外科・リウマチ科 福土純一

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700